

大根

使用産地：茨城県、神奈川県など

使用目的：

大根は土壌が硬いと根が偏平になり、肥大が不良になります。また、作土が浅く、下層に硬盤（耕盤）ができていると根が地上部に出る抽根が大きく、曲がり根も多くなります。石や未熟有機物が多いと岐根や曲がり根の原因になります。そのため、

肌を綺麗にし、太らせる為には、水はけが良く、やわらかな土を作ることが必要です。

土がやわらかいほど、同じ力でも真っ直ぐに伸び、太ることができます。

団粒構造のもととなる腐植をつくるためには、有機物だけではなく、コフナのような微生物の力が必要になりますので、コフナを定期的に投入して下さい。

収穫後

散布時期：収穫後すぐに

使用数量：コフナ1号もしくはコフナMPSS 7～10袋以上／10a

使用方法：残っている土中の残根・残渣などの有機物とともに全層混和

効果：定期的に行うことで深くやわらかい土になっていきます。

その他：収穫後は水分もありますので、出来るだけ早くコフナを投入し微生物を繁殖。

収穫後に投入できなかった場合

散布時期：播種までの10日～2週間前までに

使用数量：コフナ1号もしくはコフナMPSS 7～10袋以上／10a

使用方法：元肥とともに全層に混和

注意点：未完熟の堆肥と同時には施用しないで下さい。

大根は湿度と水分があると発芽は3～4日目と早いので、

初期に病気になる方は早めにコフナを投入して下さい。

茨城県

<緑肥栽培でのコフナ使用方法>

使用時期：7～9月（コフナ・ソーラー法）

使用数量：コフナMPSS 10袋／10a

使用方法：コフナ・ソーラー法

堆肥（自家製牛糞堆肥1年以上堆積）2～3tとともに

圃場に投入し、水分調整の後フィルム被服。その後約1ヶ月間放置。

フィルムを取った後、肥料投入。

茨城県央地区でコフナを使用して30年以上の方は、大手スーパーへ大根とニンジンを、夏場（7～9月）を除き納入しております。品質の評価も高く、味・安定した数量・契約価格と非常に安定した販売を行っております。安定した質を出荷するためには、夏場にコフナ・ソーラー法を実施し、土を育てる必要があるからです。農薬による土壌消毒は30年以上行っておりません。

